

新年のご挨拶



梶山 千里

(独立行政法人日本学生支援機構 理事長)

明けましておめでとうございます。

旧年中は本機構の事業に対し、格別のご協力ご支援を賜り誠にありがとうございました。

新年を迎え、決意を新たにして諸事業に取り組んでまいりますので、本年もよろしくお願いいたします。

本機構は、学生生活支援事業、奨学金貸与事業、留学生支援事業の三つを大きな柱とし、社会のグローバル化や学生の多様化に対応し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な優れた人材を育成するとともに、国際理解・交流の推進を図ることを目的として事業を実施しています。

昨年は、経済状況の悪化に伴い、企業の採用はさらに厳選化を強めており、大学生等をとりにくく就職環境については、新聞等で報道されているとおり、非常に厳しさを増しております。一方、中央教育審議会において、学生支援に関するワーキンググループが設置されるなど、学生支援をどのように充実させていくのか、学生支

援のナショナルセンターとしての本機構の役割はますます期待されるところです。

本年もさらに一層の重点化、効率化を図るとともに、学生生活支援の直接の担い手である大学等との密接な連携協力のもと、学生生活支援に関する研修、情報収集・提供及び調査研究事業の充実を図ってまいりる所存です。

学生生活支援事業、研修事業では、大学等の学生支援業務を担当する教職員に対し、学生支援に必要な知識等の習得やスキルアップを図るため各種研修会を実施しております。平成二二年度は、学生相談領域、就職・キャリア支援領域、留学生修学支援領域、障害学生修学支援その他喫緊の重要課題領域の四つのカテゴリー別に一一種類の研修を実施いたしました。その他に情報収集提供事業として、今年度新規に開催いたしました外国人留学生の就職指導ガイダンス、全国就職指導ガイダンスを実施し、「外国人留学生のための就職情報」を刊行いたしました。今後とも、大学等の教職員の皆様の研修会へのご参加をお願いいたします。

また、情報収集・提供事業においては、平成一八年六月より稼動した「学生支援情報データベース」の改善見直しを行い、利便性を高めるとともに、質の高い情報収集・提供に努めてまいりたいと考えております。

障害のある学生の修学支援については、障害者施策推進本部が決定した「重点施策実施五カ年計画」を踏まえ、「障害学生修学支援ネットワーク事業」を積極的に進めます。直面している課題に対応した調査研究の充実、支援担当者等に対する全国的な研修会の開催、質の高い情報提供等により、障害のある学生の学びやすい環境作りを推進してまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力をよろしく願います。

さらに、本機構では文部科学省からの依頼により、平成二二年度から文部科学省が実施する「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムに係る審査・評価、公表等に関する業務を担当しました。今後も様々な形で大学等の皆様の学生支援の充実等に資するための業務に取り組んでまいります。

奨学金貸与事業においては、意欲と能力のある学生等が自らの意思と責任により大学等で学ぶことができる

ようにという理念のもとで、この事業が多様な学生等のニーズに対応できるよう一層の充実に努めてまいります。近年の経済不況による奨学金受給者の増加、返還猶予の希望者の増加に対しても適切な対応をしていきます。また、奨学金の貸与を的確に実施することはもとより、教育施策の観点から奨学生の適格認定を通じて、修学上の指導を大学等の協力連携のもとに厳格に行ってまいります。

奨学金の返還については、返還金が次代の学生等の奨学金となる仕組みから、この事業を維持・発展させていく上で大変重要であります。返還金の確実な回収に向けて、一層効果的かつ効率的な回収方策を推進してまいります。また、大学等においては、奨学金貸与事業の重要性を改めて強く認識していただき、学生等に対する返還意識の徹底や返還促進に向けたご協力をよろしくお願いいたします。

留学生支援事業においては、「留学生三〇万人計画」の実現に向けて、留学情報の提供と日本留学試験を活用した渡日前入学許可の拡大に努め、留学生への学資金の支給、受入れ・派遣の両面での交流を促進してまいります。また、「帰国外国人留学生メールマガジン」は、「JAPAN Alumni e News」と名称を改め、帰国した留学生ばかりでなく、留学を希望する学生や留学中の学生にも役立つ媒体として今後も内容を益々充実させ、更に効果的なフォローアップ事業を実施してまいります。

これらの諸事情を踏まえ、本誌をはじめとして、ホームページなど各種メディアを通じて、様々な学生生活支援に関する情報提供を行うことにより、きめ細かく学生生活支援活動をサポートしてまいります。

以上、今後とも学生サービスを実施する大学等の皆様方との連携を図りつつ、大学等及び学生のニーズを的確に反映したサービスの提供を目指してまいりますので、旧来にも増してご協力をいただきたく重ねてお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。